

事務事業名		市営建設工事契約入札事務		☐ 実施計画登載事業 ☐ 総合戦略登載事業	
政策体系	政策名	07 自立した行政経営の確立		事業期間	
	施策名	31 健全な財政運営の推進		☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 年度～)	
	基本事業名	02 効率的・効果的な財政運営		☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入	
根拠法令		地方自治法		予算科目 会計 款 項 目 事業 01 02 01 05 00 事務事業区分 A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)	
所属	部課名	総務部財政課			
	課長名	熊谷 善男			
	係名	管財係	電話	0192-27-3111	
	担当者	佐々木 英紀	内線	227	
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 市が行う建設工事に関する入札の執行と契約の締結を行う事業。 主な業務は次の通り。 1 指名通知書の発送 2 設計図書の縦覧 3 入札の執行 4 契約の締結 5 入札結果及び契約内容の公表 6 その他 (1) 市営建設工事入札参加資格者審査委員会の開催 ア 業者選定 イ 低入札・談合情報・指名停止処分等への対応				全体計画(※期間限定複数年度のみ) 総投入量 (千円) 事業費 財源内訳 国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 一般財源 事業費計 (A) 0 人件費 正規職員従事人数 延べ業務時間 人件費計 (B) 0 トータルコスト(A)+(B)	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標									
① 手段(主な活動)	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
前年度実績(前年度に行った主な活動)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ア 市営建設入札・工事件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>イ 審査委員会開催回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>ウ</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	ア 市営建設入札・工事件数	件	イ 審査委員会開催回数	回	ウ	
名称	単位								
ア 市営建設入札・工事件数	件								
イ 審査委員会開催回数	回								
ウ									
今年度計画(今年度に計画している主な活動)	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)								
前年度と同じ	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カ 入札会実施回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>キ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	カ 入札会実施回数	回	キ		ク	
名称	単位								
カ 入札会実施回数	回								
キ									
ク									
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)								
市営建設工事の契約及び入札	<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サ 入札契約に関する異議申立件数</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>シ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	単位	サ 入札契約に関する異議申立件数	件	シ		ス	
名称	単位								
サ 入札契約に関する異議申立件数	件								
シ									
ス									
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)									
適正かつより効率的に執行する。									
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)									
限られた財源が計画的に執行されている。									

			年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)	30年度(目標)	31年度(目標)	32年度(目標)	
			単位							
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千 円						
			都道府県支出金	千 円						
			地方債	千 円						
			その他	千 円						
			一般財源	千 円						
			事業費計 (A)	千 円	0	0	0	0	0	0
	人件費		正規職員従事人数	人	3	3	3	3	3	3
			延べ業務時間	時 間	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500
			人件費計 (B)	千 円	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
			トータルコスト(A)+(B)	千 円	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
⑤活動指標	ア	件	109	108	100	100	100	100		
	イ	回	6	2	5	5	5	5		
	ウ									
⑥対象指標	カ	回	115	114	100	100	100	100		
	キ									
	ク									
⑦成果指標	サ	件	0	0	0	0	0	0		
	シ									
	ス									

事務事業ID	0053	事務事業名	市営建設工事契約入札事務
--------	------	-------	--------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
指名競争入札 地方自治法第234条、同法施行令第167条
参加者資格 同法施行令第167条の11

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
震災以降、復旧・復興による公共工事の発注件数が増加している。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
公正・適正な入札執行が求められている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 結びついている ⇒【理由】 公正・適正な入札執行は、行政運営においては不可欠なものであり、効率的・効果的な財政運営に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 妥当である ⇒【理由】 市営建設工事の入札・契約事務は、市でなくては行うことができない。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 適切である ⇒【理由】 法律および市の規則に則って行っている。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 入札制度は、常に新たな課題が発生するものであるため、随時、課題に対応するための改善が必要である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	☐ 影響無 ⇒【理由】 ☒ 影響有 ⇒【その内容】 地方自治法の入札制度が削除されない限り、廃止はできない。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 事業費をかけていない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 電子入札を導入することで、削減の可能性がある。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 受益者負担はない。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性 ① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む)  ③ 終了・廃止・休止 (3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 当市にとって有効な制度であるかを十分に精査・検討する必要がある。	(2) 改革・改善による期待成果 左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <th rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr> <tr> <th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr> <tr> <th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <th>成果維持</th><td></td><td>●</td><td>×</td></tr> <tr> <th>低下</th><td></td><td>×</td><td>×</td></tr> </table>		コスト			削減	維持	増加	向上				成果維持		●	×	低下		×	×
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
向上																				
成果維持		●	×																	
低下		×	×																	

4 課長等意見

(1) 今後の方向性 ① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容 事務の効率化や不正防止の観点から新たな入札方式の導入を検討するとともに、適正な入札執行のため、さらに、審査・確認体制を強化する必要がある。
--	--